

平成30年北海道胆振東部地震への対応状況

9月9日12時時点

二次災害防止対策に向けた取り組み

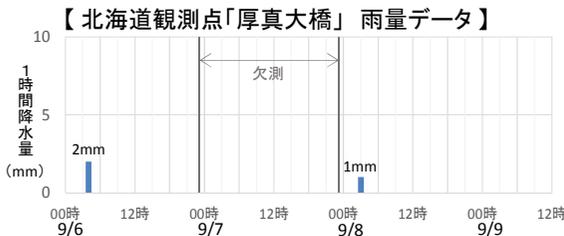
●土砂災害警戒情報の発表基準引き下げ

土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げた暫定的な運用を9月6日12時より開始。

●通常基準の7割(震度6弱以上):札幌市、厚真町ほか1市4町

●通常基準の8割(震度5強):苫小牧市、江別市ほか2市3町

●北海道勇払郡厚真町で発生した土砂崩れに関して、北海道の要請により、二次災害防止のため、土砂災害専門家を含むTEC-FORCEを派遣し、厚真町には土砂災害に関する警戒避難について助言を行った。



●引き続き、被災市町村等との緊密な連携の下、災害応急対策に全力で取り組む。

国土交通省 Twitter で注意喚起

国土交通省 @MLIT_JAPAN / 官公庁
#平成30年北海道胆振東部地震 緊急
胆振地方では、明日にかけてまとまった雨が降る見込みです。地震により山に亀裂が入っている可能性があり、少量の雨や余震でも土砂災害に繋がるおそれがあります。山の斜面等の危険な場所には絶対に近づかないでください。詳しくはこちら。 mlit.go.jp/river/saboh30...

雨が降ったら 地震のあとは 土砂災害に注意 ⚠️

地震によって地下の深いところまで地盤がゆるんでいます。これからの雨や雪どけ水によって、土砂災害(かけ崩れ・土石流・地すべり等)が引き起こされる危険があります。

【土砂災害専門家コメント】

- 斜面崩壊は、厚真町役場付近から厚真ダム付近までの範囲で多発。
- 尾根付近を残して両側斜面で表層崩壊が発生。一部崩壊土砂が長距離移動しているもの、河道を閉塞している事例が見られる。
- 崩壊は、斜面表層の降下火砕堆積物が立木を伴って移動。
- 今後の余震・降雨で、(1)崩壊した斜面周辺の崩壊、(2)隣接斜面の崩壊の可能性がある。
- 当面は少ない雨量で早めの避難を呼びかけるなど安全側にたった対応が必要。余震・降雨後の崩壊発生状況を確認しながら避難基準を徐々に引き上げるなど段階的な対応が必要。

TEC-FORCE高度支援班の活動状況(9月7日~9日)

【9月7~8日】

- 国総研、土研の土砂災害専門家によるTEC-FORCE高度支援班において厚真町の現地調査を実施し、土砂崩れの状況や土砂災害警戒情報の基準の引き下げた暫定的な運用、今後の留意点等について厚真町長他に説明
- 災害対策関係機関会議(厚真町)において、町長を含め関係機関に対し、土砂災害警戒情報の基準引き下げ、土砂災害専門家からの留意事項について説明するとともに、ヘリ調査で判明した土砂崩れ状況について情報共有

【9月9日】

- 9時より、厚真町の要望箇所(人家裏等)について、地上から現地調査を開始



厚真町長へ調査状況説明(9/8)



TEC-FORCE高度支援班による地上調査の実施(9/7)



副町長への土砂災害警戒情報の基準引き下げを説明



土砂災害専門家から厚真町職員へ留意事項を説明

